



ふるさと笠松の「ちょっといい話」98号



「トンボ天国の自然は自分たちの力で守る！」

7月12日(日)の早朝8時に、約200名の人々がトンボ天国に集まってくださいました。集まった方は国土交通省、町職員、トンボ池を守る会、下羽栗地区町内会、道徳のまち笠松の関係者をはじめ、下羽栗小PTA、地元企業、一般ボランティアなどの方々です。

トンボ天国周辺の竹や雑草を伐採し、不法に投棄された粗大ゴミなどを回収する整美活動は、今年で4回目です。集まった方々は、エンジン付き草刈り機やのこぎり、ナタ、剪定ばさみなどの道具を持参し、作業を開始しました。晴天のため、少し活動すると汗が噴き出します。気温が高いため竹や雑草は背丈以上に伸びています。それらを伐採するために、9時までの1時間、休息もとら

ないで頑張ってくださいました。おかげで、トンボ池の周辺は見違えるようにきれいになりました。背の高い竹や雑草がなくなったことで、下草が育つ環境になり、表土が池に流れ込むこともなくなると思われます。きっと、ヤゴたちには池が土で濁らないのでよい環境が整ったことでしょう。たくさんのトンボたちが飛びかうようになることを願っています。ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

なお、トンボ天国周辺の竹や雑草等の伐採活動は来年も続けたいと思っています。是非、たくさんの方々のご参加をお待ちいたします。



挨拶をする葛谷 昌彦 道徳のまち推進会議 会長



大勢の力で竹がこんなに伐採できました。



お礼のあいさつをする奥田 清保 きれいなまち部会長

☆ この環境美化活動の素晴らしいところは、各個人が必要な道具を持参し、自主的に活動できていることです。

国と町と地域住民が合同で取り組んでいる素晴らしい活動です。



大勢の力で見違えるようにきれいになりました。



力を入れて、汗びっしょりで伐採しています。



30分もすると伐採した竹が山と積まれます。



小さな子も竹やゴミを拾ってお手伝い中



暑い中での受付のお仕事ご苦労様



9時になって伐採作業が終了しホッとする皆さん